

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	友野 聡子	所属	宮城学院女子大学 発達科学研究所								
研究会等名称	奥羽ネガティブ心理学研究会										
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <table border="0" data-bbox="501 763 1150 831"> <tr> <td>会員</td> <td>のべ 37 名</td> <td>(うち認定心理士</td> <td>3 名)</td> </tr> <tr> <td>非会員</td> <td>15 名</td> <td>(うち認定心理士</td> <td>0 名)</td> </tr> </table> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p><目的> 本研究会では、人々のネガティブな心理に関心のある多様な領域の東北地方の心理学研究者が中心となり、研究集会や読書会などを通し、研究の視野を広げることが目的としている。</p> <p><実施内容と成果> 2019 年度の研究会において実施された内容は、主に研究集会であった。人々のネガティブな心理に関心のある研究者がそれぞれの研究テーマに関する発表を行い、参加者と議論をした。研究集会は、平均すると約半年に 1 回のペースで、計 2 回行った (年度内にもう 1 回予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止)。そのうち 1 回は、日本心理学会第 83 回大会の公募シンポジウムにおいて、公開の研究集会として開催した。</p> <p>以上の研究集会から得られた成果は、とても多かった。第一に、心理学の研究交流の機会が少ない東北で本研究会を開催したことで、東北の心理学研究者どうして刺激を与え合うことができた。開催回数は新型コロナウイルスの影響もあり 2 回のみと少なくなってしまうが、他地域在住だが東北に所縁のある者などが意欲的に集まり、密度の濃い議論を行うことができた。第二に、研究集会において、毎回活発な議論がなされ、各自の研究の視野を広げることができた。特に、社会、感情、パーソナリティ、犯罪など、さまざまな専門領域の心理学研究者が集い、多様な議論がなされたことは、本研究会の成果の大きな特徴であったと言える。第三に、9 月に公開の研究集会「社会生活における Negativity のポジティブサイド・The Positive Side of Negativities」を日本心理学会第 83 回大会の公募シンポジウムとして開催し、ネガティブ心理学研究の今後の展開について議論を深めることができた。</p> <p><将来計画> 将来計画としては、まずは 9 月に開催した公開の研究集会の内容を発展させ、2020 年度の日本心理学会大会に於ける公募シンポジウムに応募することを考えている。また、中止となった研究集会で予定されていた、web 調査会社の方のレクチャーを実施する。その他、ペンディング中の翻訳本やテキスト出版の企画を進める。これらのことにより、人々のネガティブな心理に関する理論的・実践的知見を多くの人々に提供できる足がかりとなろう。</p>			会員	のべ 37 名	(うち認定心理士	3 名)	非会員	15 名	(うち認定心理士	0 名)
会員	のべ 37 名	(うち認定心理士	3 名)								
非会員	15 名	(うち認定心理士	0 名)								

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会 奥羽ネガティブ心理学研究会				
研究集会開催日：2019年 9月 12日 (木)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	友野 隆成	宮城学院女子大学	○	
2	上原 俊介	鈴鹿医療科学大学	○	
3	手塚 洋介	大阪体育大学	○	
4	福野 光輝	東北学院大学	○	
5	福島 治	新潟大学	○	
6	田中 圭	筑波大学大学院		
7	永岑 光恵	東京工業大学	○	
8	大石 彩乃	お茶の水女子大学	○	
9	村馬 希咲	鈴鹿医療科学大学		
10	松田 崇志	ルーテル学院大学	○	
11	堀田 亮	岐阜大学	○	
12	橋本 采栄	大阪大学		
13	松本 友一郎	中京大学	○	
14	堀毛 裕子	東北学院大学	○	○
15	米地 逸樹	関西学院大学		
16	金沢瑠璃子	広島修道大学		
17	渡部 敦子	尚絅学院大学	○	
18	近藤 みどり	大阪体育大学	○	
19	樋口 匡貴	上智大学	○	
20	立川 淳也	同志社大学		
21	松元 鴻樹	立命館大学		
22	永野 光朗	京都橘大学	○	
23	原田 純子	京都橘大学		
24	中川 紗江	(株) アドバンテッジリスクマネジメント調査研究部	○	

	氏名	所属	会員	認定 心理士
25	白井 真理子	同志社大学	○	
26	落合 淳	LDSファミリーサービス		
27	大野 裕史	兵庫教育大学	○	
28	根ヶ山 光一	早稲田大学	○	
29	いとう たけひこ	和光大学	○	
30	赤松 慎太郎	関西学院大学		
31	本多 麻子	東京成徳大学	○	
32	木川 智美	昭和女子大学大学院D3	○	○
33	清水 佑輔	東京大学教育学部 教育心理学 学部4年		
34	太幡 直也	愛知学院大学総合政策学部	○	
35	田中 慎太郎	東京大学		
36	田口 観菜	関西学院大学		
37	津田 菜摘	同志社大学	○	
38	佐々木 淳	大阪大学	○	
39	鈴木 護	岩手大学	○	
40	小林 正和	宮城県警察科学捜査研究所	○	
41	塩谷 尚正	梅花女子大学	○	
42	野村 理朗	京都大学	○	
43	清谷 真愛	関西学院大学		
44	田村 紋女	同志社大学	○	
45	榎木 宏之	平和病院	○	
46	幸田 宗良	徳島大学	○	

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会 奥羽ネガティブ心理学研究会				
研究集会開催日：2019年 11月 23日 (土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	友野 隆成	宮城学院女子大学	○	
2	渡邊 伸行	金沢工業大学	○	○
3	小林 正和	宮城県警察科学捜査研究所	○	
4	下山 忍	東北福祉大学		
5	福野 光輝	東北学院大学	○	
6	吉田 綾乃	東北福祉大学	○	
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

(様式5)

2020年3月25日

日本心理学会研究会 2019年度会計報告書

研究会名称 奥羽ネガティブ心理学研究会

研究会番号 19011

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2019年11月23日	講師交通費	¥30,000

支出合計 ¥30,000